

1. 内政

▼新内閣組閣に向けた動き

- ・26日、新与党連合は、与党連合の戦略的方向性、短期・中期的目標、及び、与党連合内の権限分配を規定すると共に、政治情勢不安定化を狙った相互非難を行ってはならないとする点を骨子とした合意文書を公開。
- ・27日、ティモフティ大統領は、自由民主党、民主党、共産党及び自由党の議会各会派代表と首班指名に向けた協議を実施（「ティ」大統領と社会党会派代表との協議は13日に実施

済）。自由民主党は、同協議において、レアンカ首相を首相候補として提案。民主党は、同候補を支持する旨表明。28日、ヴォローニン共産党党首は、共産党は同候補を支持しないとし、自由民主党は政界ではなくビジネス界の中立的な候補を提案すべきである旨発言。

・28日、ティモフティ大統領は、自由民主党提案に基づき、レアンカ首相を首班に指名する大統領令に署名。憲法規定に基づき、同候補は、同日から15日以内に政府行動計画及び全閣僚候補を議会に提案する必要がある。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。
(了)